

外国人に伝わりやすい 「やさしい日本語」 作成の手引き

炊き出し
します
13:00から



もらうことが できます



あたたかい 食べものを
もらうことが できます

午後 1 時 00 分から

午後 2 時 00 分まで



はじめに

1995年1月に発生した阪神・淡路大震災以来、緊急災害時の情報伝達手段として、複数の団体機関で多言語の他に「やさしい日本語」が使われるようになりました。そしてまだ記憶に新しい東日本大震災を契機として「やさしい日本語」による情報発信・提供がさらに増えています。

この冊子は、「やさしい日本語」をより多くの人に知ってもらうこと、災害が起きたときに「やさしい日本語」を使って情報提供ができるようになってもらうことを目的としています。弘前大学人文学部社会言語学研究室発行の『『やさしい日本語』作成のためのガイドライン(2010)』をもとに、弘前大学大学院教授・佐藤和之氏の監修を受けて作成しました。「やさしい日本語」をよく知らない方でも手軽に読むことができ、「やさしい日本語」文を作るための要点を説明しています。2005年に同研究会が刊行した『新版・災害が起こったときに外国人を助けるためのマニュアル』¹と併せて活用いただくことをお勧めします。

現在の研究では「やさしい日本語」とは、災害発生から72時間以内に使用することを想定して作られた日本語です。この時間は、行政やボランティア団体による外国語支援が始まるまでにかかる、おおよその時間だからです。しかし、外国人に分かりやすく情報を伝えることは、災害時に限らず平常時でも必要なことです。普段の窓口での対応や掲示物の作成、そして外国人とのコミュニケーションの際などに、どうしたら分かりやすく伝えることができるか、考えるきっかけになれば幸いです。

なお、この手引きを作成するにあたり、弘前大学人文学部社会言語学研究室の方々から多大なる御協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

2013年3月

¹ 『新版・災害が起こったときに外国人を助けるためのマニュアル』
<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/newmanual-top.html>

目 次

「やさしい日本語」とは	3
「やさしい日本語」文の作り方	4
① 「やさしい日本語」の作成ルール	6
② 書きことばの注意点	9
③ 読みことばの注意点	11
④ 理解されやすい表現	12
練習問題	13
「やさしい日本語」化支援システム「やんしす」	14
「やさしい日本語」を使ってポスターを作ってみましょう	15
ポスターのイラストを描く際の注意点	20
練習問題の模範解答	20, 22
「やさしい日本語」チェックリスト（掲示物用）	24
「やさしい日本語」チェックリスト（読み原稿用）	25
事例紹介	26

「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」とは、災害発生から概ね 72 時間の情報伝達を目的とした外国人被災者のための日本語です。災害が起きたときに「やさしい日本語」を使った音声で、日本語に不慣れな外国人を安全な場所へ誘導する日本語であり、避難先では避難生活に必要な情報を、「やさしい日本語」で書かれた掲示物で伝えることも目的にしています。

「やさしい日本語」は、日本語能力試験² 3・4 級程度のレベルに相当します。日本語能力試験 3・4 級程度とは、友人と待ち合わせ（時間や場所を決める）ができたり、自分の欲しいものを説明して買い物ができたりする程度の能力のことです。

阪神・淡路大震災では、多くの外国人が被害に遭いました。外国人は災害情報や避難情報を得ることができず、地震による物理的被害だけでなく、情報の面でも被災してしまいました。

多くの外国人被災者に確実に情報を伝えるためには、彼らの母語で伝えることが最も有効です。しかし、刻一刻と変化する災害時の情報の全てを多様な言語に言い換えることはとても難しく、時間もかかります。そこで、彼らに早く・正しく・わかりやすく情報を伝えるためには、「やさしい日本語」が必要となってきます。

ここで、「やさしい日本語」とはどのようなものかみてみましょう。

実際のラジオ放送の一部

【普通の日本語】

けさ 7 時 21 分頃、東北地方を中心に広い範囲で強い地震がありました。
大きな地震の後には必ず余震があります。
引き続き厳重に注意してください。



「やさしい日本語」に直したもの

【やさしい日本語】

今日 朝 7 時 21 分、東北地方で 大きい 地震が ありました。
大きい 地震の あとには 余震 〈あとからくる地震〉 が あります。
気をつけて ください

「やさしい日本語」で書かれた文章は、情報量は少ないですが、読んですぐに内容が分かります。一つの文が短く、簡単な言葉で構成されているからです。

² 日本語能力試験…国際交流基金と日本国際教育支援協会が共催で実施している試験。原則として日本語を母語としない人を対象に日本語能力を測定し、認定することを目的としている。

「やさしい日本語」文の作り方

この手引きでは「やさしい日本語」を使って情報提供する際のルールや注意点を、書きことば³と読みことば⁴に分けて説明しています。

まず、「やさしい日本語」文を作るときに必要な注意点は以下の通りです。

- ① 「普通の日本語」と「やさしい日本語」の一語一語を対応させようとしない
- ② 忠実に翻訳せず、伝えるべき内容の要点を翻訳するよう心がける
- ③ 使える語彙数が限られるうえ一文を短くする必要があるため、情報が限定されることを前提に作成する

「やさしい日本語」文の作成に慣れていない間は、時間がかかるうえに難しく感じるかもしれません。そこで、災害が起きたあと何分までに何の情報を伝えるかを把握しておく、的確に情報を伝えることができるようになります。その目安として、災害発生時に必要となる情報を一覧表にしてありますので、参考にしてください。

表では、左端の縦軸に災害発生からの経過時間を記載しました。横軸には必要となる情報の種類を掲載しています。これらは「阪神・淡路大震災」のときに阪神地区で伝えられたラジオからの情報を時間軸に沿って整理したものです。それぞれの情報を伝えるときに、どのような表現がいいかは、弘前大学人文学部社会言語学研究室発行の『新版・災害が起こったときに外国人を助けるためのマニュアル』のうちの「1 放送などに使う『やさしい日本語』の案文」を参考にしてください。

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/newmanual/1-22.pdf>からもダウンロードすることができます。

このような「やさしい日本語」を使った表現は、日本語を母語とする人たちにとって不自然な日本語と感じる場合があります。しかし、日本語に慣れてない外国人には、こういう表現の方が分かりやすいようです。これらのことは、さまざまな国からの外国人を対象に確認して得られた結論です。

³ 書きことばとは、文字・表記による伝達のことばのことである。ポスターなどによる情報伝達の際に使用する

⁴ 読みことばとは、音声による情報伝達のことばのことである。ラジオや防災無線、広報車などを使った情報伝達の際に使用する

表：災害時に必要となる情報

時間	生活情報	交通情報	支援情報	自然情報	注意喚起情報	外国人関連情報
0h			避難所についての案内	震度震源	火災注意 頭上注意 周辺注意 余震注意 道路注意 運転注意 デマ注意	消防・救急についての情報
1h	停電 電話制限 電話被害 ガス被害	道路被害 鉄道被害 空路被害		浸水被害 余震被害	建物被害 火災被害	
2h 4h 6h	断水 食糧配給 病院	鉄道安全 通行止め	応急手当可能な避難所		避難時の注意 食中毒注意	外国語の通じる病院 外国語ラジオ情報
7h	金融特別措置 郵便局営業 ガス配給停止 店舗営業	鉄道運行再開	トイレ情報		二次災害注意 避難勧告	
9h	電気復旧 電話復旧	鉄道復旧				
14h	休校					国際電話のある場所
15h	ガス復旧					外国人相談窓口
17h						留学生安否連絡
19h						外国人安否連絡
20h	臨時電話設置		救援物資			
23h		鉄道運休				
24h	給水		お風呂情報			
26h	給水場所					
27h	給水制限					
37h	水道復旧					
45h	無料電話サービス					
47h	給水制限					
72h	ごみ収集					

※時間は、災害発生時からの経過時間を示す

1 「やさしい日本語」の作成ルール

(1) 難しいことばを避け、簡単な語彙を使ってください

語彙は日本語能力試験出題基準3級、4級の語を使います。日本語能力試験3・4級程度とは、友人と待ち合わせ（時間や場所を決める）ができたり、自分の欲しいものを説明して買い物ができたりする程度の能力のことです。語彙レベルは「日本語読解学習支援システムリーディングチュウ太」⁵のホームページで、調べることができます。

① 助詞

助詞によって使えるものと使えないものがあります。そのため、語彙レベルを判定してから使用してください。また、方向を表す場合は、「へ」を用いてください。これは、「に」や「で」は用法が数種類あるのに比べ、「へ」は用法が方向を表すだけだからです。

例：川に 行かないで ください → 川^{かわ}へ 行かないで ください

② 文末表現

「かしら」「ぜ」「ぞ」は、3級までの文法から逸脱するため、できるだけ使用しないようにしてください。

例：ごみは ここに 捨てて くれるかしら
→ごみは ここに ^す捨てて ください

(2) 1文を短くして、文の構造を簡単にしてください

1文の長さは24拍程度です。長くなっても30拍は超えないようにしてください。1拍は平仮名1文字に相当します。例えば、「余震」は「よしん」なので3拍となります。文節の数は10文節程度を目安にしてください。

文節とは、意味が不自然にならない程度に文を区切ったときの最小単位のことです。文の途中に「ね」などのことばを入れて切ってもおかしくないところで区切ります。

例：今日、朝地震がありました
→今日^{きょう}ね 朝^{あさ}ね 地震^{じしん}がね ありました

文構造を簡単にする場合には以下の点に注意してください。

① 主語と述語を一組だけ含む文にしてください

例：余震が起きるおそれもあるため、余震に対して十分に注意してください
→余震^{よしん}〈^{あと}後で ^{くる}来る 地震^{じしん}〉に ^き気をつけて ください

⁵ 「日本語読解学習支援システムリーディングチュウ太」 <http://language.tiu.ac.jp/>

② 連体修飾節（名詞を説明している部分）の構造を単純にしてください

例：地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物

↑

連体修飾節（「建物」を下線部の語が説明しています）

→地震で壊れた建物

(3) 外来語を使用するときは気をつけてください

外来語は原語と意味や発音の異なるものが多いため、使用するときには注意してください。

例：ダイヤル → 原語とは発音が全く異なっています

ライフライン → 原語とは意味が異なっています

デマ → 原語では行われぬ省略です

外来語の中でも、日本語能力試験3級、4級程度の語で、外来語以外での表現が難しいものは使うことができます。

例：バス、ガス、ガラス、テレビ、ラジオ

(4) 擬態語は、日本語話者以外には伝わりにくいので使用を避けてください

例：めっちゃめっちゃ、ドキドキ、きりきり

(5) 動詞を名詞化したものは分かりにくいので、できるだけ動詞文にしてください

例：揺れがあった → 揺れた

↑

「揺れ」は名詞

↑

「揺れる」は動詞

(6) あいまいな表現は、避けてください

① 「おそらく・・・」「たぶん・・・」などの表現は、使用しないでください

例：おそらく津波がきます

→津波が来るかも しれません

② 「・・・したりしている」のようなあいまいな表現は避けてください

例：亀裂が入ったりしている

→壊れた

(7) 二重否定の表現は避けてください

「通れないことはない」、「使えないわけではない」などの二重否定の表現は、外国人だけでなく、日本人にとっても混乱を招きやすい表現です。

例：通れないことはない → ^{とお}通ることが できます

(8) 文末表現はなるべく統一するようにしてください

① 可能 「することができます」

例：火を使えます → 火を ^{つか}使うことが できます
燃えるゴミ → ^も燃やすことができる ゴミ

可能表現は「れる」「られる」でなく「することができる」としてください。これは日本語初級の学習者が一番はじめに「～ができる」という表現を習得するためです。

また、不可能の表現は、「することができません」としてください。

例：電話は使えません → ^{でんわ}電話を ^{つか}使うことが できません

② 指示 「～てください」

例：手を洗いましょう → 手を ^{あら}洗って ください

指示文末は「～しましょう」ではなく、「～してください」とします。「～しましょう」には指示以外にも勧誘の意味もあるので、「～してください」の方が分かりやすいためです。

「やさしい日本語」活用事例紹介

弘前市が設置した「避難誘導標識」

（「やさしい日本語」で“逃げる場所”と付記し、英語も併記）



（写真提供：青森県弘前市）

② 書きことばの注意点

【1】文は文節で余白をあけて区切り、分ち書きにしてください

分ち書きとは文節の間に間隔をあけて書く方法のことです。

例：東北地方で大きい地震がありました

→^{とうほくちほう}東北地方で ^{おお}大きい ^{じしん}地震が ありました

【2】日本語に不慣れな外国人にとって、難しいと思われることばでも災害時にはよく使われます。そのため、知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使い、そのことばの後に〈 〉を使い言いかえを付記してください

例：消防車 → ^{しょうぼうしや}消防車 〈^ひ火を ^け消す ^{くるま}車〉

余震 → ^{よしん}余震 〈^{あと}後で ^く来る ^{じしん}地震〉

避難所 → ^{ひなんじょ}避難所 〈^{みんな}みんなが ^に逃げる ^{ところ}ところ〉

炊き出し → ^た炊き ^だ出し 〈^{あたた}温かい ^た食べ物を ^{つく}作って ^{くぼ}配る〉

津波 → ^{つなみ}津波 〈^{たか}とても ^{高い}高い ^{なみ}波〉

※言いかえを付記する語彙の基準については、社会言語学研究室ホームページ「外国人用地震災害基礎語彙 100」⁶を参考にしてください。

【3】ローマ字は使わないでください

ローマ字は、駅名や地名などの固有名詞を表記するためのもので、文を書くことには不向きです。ローマ字を使って日本語の文を表記することはしないでください。

【4】使用する漢字や、漢字の使用量に注意してください。漢字にはふりがなをふってください

掲示物や配布物を作るときは、漢字を使った方が漢字圏の人に分かりやすいという利点がありますが、使用する語彙や割合に注意してください。語彙は日本語能力試験出題基準3級、4級程度の語を使います。(P6 註釈参照) 漢字の使用量は1文に3、4字程度が目安です。また、必ず全ての漢字にふりがなをふってください。

例：^{あたま}頭の ^{うえ}上に ^き気をつけて ください

^{でんわ}電話を ^{つか}使うことが できます

⁶ 社会言語学研究室ホームページ「外国人用地震災害基礎語彙 100」
<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ100go-zyuni.html>

同音異義語を書くときは級外の漢字でも使用した方がわかりやすい場合があるので、漢字を表記してください。

例：手を ふいて ください → 手を 拭いて ください
「拭く」を「吹く」と誤解する可能性があるためです。

【5】時間や年月日の表記は分かりやすくしてください。以下の用例に従ってください

- ① 時間を表す助詞は記号「～」ではなく、「・・・から」に統一してください

例：電気を【午前・午後】〇〇時〇〇分～使うことができます
→電気を【午前・午後】〇〇時〇〇分**から** 使うことが できます

- ② 時間は12時間表記で書いてください

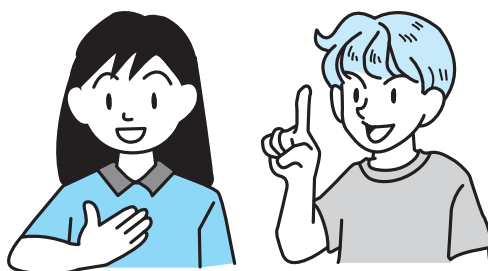
例：21時30分
→午後9時30分

- ③ 年月日の表記にはスラッシュを使わないでください

例：2013/1/1
→2013年1月1日

- ④ 元号は使わないで、西暦で書いてください

例：平成25年1月1日
→2013年1月1日



③ 読みことばの注意点

読みことばの「やさしい日本語」を作成する際の基本的なルールは、難しいことばを避けて簡単な語彙を使うという点で、書きことばでのルールと変わりありません。しかし、読みことばで情報を提供するときは、文章を読むスピードや、間の取り方などにも配慮する必要があります。特に気を付ける点は、以下の点です。

- ① 読み方は、**全体的にゆっくりと、一語一語はっきり**発音してください

1分間に280拍くらいを読むことを目安にしてください。

- ② 日本語に不慣れな外国人にとって難しいと思われることばでも災害時にはよく使われます。知っておいた方がよいと思われることばはそのまま使い、そのことばの後に言い換え表現を続けて使用してください。そうすることで、外国人が災害時に必要となることばを理解し、覚えることができるからです。(詳細を知りたい方は、P9 註釈参照または、社会言語学研究室ホームページ「外国人用地震災害基礎語彙100」をご覧ください)

例：消防車□火を□消す□車 救急車□病院の□車

- ③ 文節の切れ目や、文と文の間にポーズを入れて読んでください

ポーズを設ける基準は、原則的には話し手の判断によります。語と語のつながりや意味の切れ目を意識し、ポーズを置くことが大切です。強調したい語の前後や、言いかえの語の前でもポーズを置きます。

例：できるだけ□電話を□使わないでください■

余震□後からくる地震

凡例：短いポーズ→□、長いポーズ→■

- ④ **いつ(時間)、どこで(場所)、だれが、何を**する、「…してください」、「…に注意してください」などは繰り返し言って**強調**してください

- ⑤ 数字の読み方は下の表を基本とします

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ゼロ	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	ナナ	ハチ	キュウ	ジュウ

日時を言うときは、すべて表のとおり読んでください。ただし、例外もあります。

例：9時=くじ 4時→よじ

- ⑥ カタカナ外来語を使わないでください。使うときはその語の概念も説明します

例：プラグを□抜いて□ください■

プラグは□電気が□流れる線です■

プラグを□穴にさすと□電気が□流れます■

プラグは□テレビ□冷蔵庫などに□ついています■

⑦ 同音、または音が似ている語はなるべく使わないでください
 例：「紙」と「髪」、「格好」と「学校」、「拭く」と「吹く」など

⑧ 1文は1情報にしてください
 例：車を離れるときは、エンジンを切り、キーはつけたままにしてください



車をおりるとき□車のエンジンをとめてください■車の鍵を□とらないでください■

4 理解されやすい表現

理解されやすい表現についての研究結果を掲載します。「目的」はどういったことを伝えたい時に用いるのかということ、その右側にある「表現」はそれをどう表現するかということを示しています。つまり、「目的」を伝えたいときには、「表現」にあるような言い方をすれば、外国人にも分かりやすいということです。「やさしい日本語」の言い換え表現を作る際の参考にして活用してください。

目 的	表 現
道路渋滞	道は車でいっぱいです
火災発生	火事が起きました
電話混線	電話はいそがしいです
電車運休	電車はとまっています
ごみ収集	ごみを集める
営業	～はやっています
郵送	手紙を出す
注意の呼びかけ	気をつけてください
下車	車からおりる
無料	お金はいりません
ガス漏れ	ガスが出る
崖	山

「やさしい日本語」は日本語能力試験出題基準3級、4級程度の語を対象にしています。日本語能力試験出題基準1級、2級にあたる語は使わないで伝えたい情報を表現することが望ましいと考えてください。しかし、実際に災害が起こったときにある程度混じってしまうことはやむを得ません。

たとえば「コンセント」「エンジン」「電気」などは日本語能力試験出題基準2級の語ですが、使う場合があります。

例：

目 的	表 現
コンセントを抜く	コンセントをとる
エンジンを切る	エンジンをとめる
懐中電灯	手にもつ電気

練習問題

これまでに学んだ「やさしい日本語」の作成ルールにしたがって、通常の日本語を「やさしい日本語」に直してみましょう！

問1 ドアや窓を開けて、避難する場合に備えてください。

答え

【注意点】

- ・重要度が高い情報に絞り込みます。次に文を短くするため、2文に分けます
(→P6 ①(2)～参照)
- ・「避難」は「逃げる」に、「備える」は「準備」のように、難しいことばを簡単なことばに置き換えます(→P6 ①(1)～参照)
- ・文節で余白をあけて、漢字にはふりがなをふります(→P9 ②【1】【4】～参照)

(模範解答は、P20 下段にあります)

問2 地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物には近づかないようにするなど、余震に対して十分に注意して欲しいと呼び掛けています。

答え

【注意点】

- ・重要度が高い情報に絞り込みます。次に文を短くするため3文に分けて、文の構造を簡単にします(→P6 ①(2)～参照)
- ・「亀裂」のような難しいことばを、簡単なことばに置き換えます
- ・「余震」は災害時にもよく使われることばなのでそのまま使い、〈 〉を使って言い換えを付記します(P9 ②【2】～参照)
- ・文節で余白をあけて、漢字にはふりがなをふります

(模範回答は、P22 下段にあります)

「やさしい日本語」化支援システム「やんしす」

これまでに、「やさしい日本語」の作成ルールを説明してきましたが、「やさしい日本語」を作成する人にとって、それは簡単なことではありません。外国人にわかりにくい単語や表現を避けることが「やさしい日本語」の基本ですが、そもそもどんな単語や表現が「外国人にわかりにくい」のかが、多くの人には分からないからです。そこで、誰でも簡単に「やさしい日本語」の文を作成できるよう開発されたのが、「やんしす」です。

「やんしす」は、「やさしい日本語」の作成を支援するソフトウェアです。入力された文について、「どこがわかりにくい」を指摘します。できるだけ指摘が少なくなるように文を書き換えていけば、最終的に「やさしい日本語」ができるというしくみです。「やんしす」は以下の URL から無料でダウンロードすることができます。

「やんしす」 <http://www.spcom.ecei.tohoku.ac.jp/~aito/YANSIS/>（「やさしい日本語」研究会制作）

「急いで避難しましょう」という文を例に、「やんしす」の画面を以下に示します。

The screenshot shows the EJAdvisor version 0.5 interface. The input field contains the sentence "急いで避難しましょう。". A callout box labeled "手順①" points to the input field with the text "文章を入力する". The "評価" (Evaluate) button is highlighted, with a callout box labeled "手順②" pointing to it with the text "評価をクリック". The analysis results section shows the sentence with "急いで" and "しましょう" in blue and "避難" in pink. A callout box labeled "手順③" points to the pink text with the text: "入力文ごとに評価結果が色で示されます。この例の場合、'急いで'と'しましょう'は青、'避難'はピンク（やや難しい単語…日本語能力試験1・2級レベル）で表示されます。". The evaluation points section shows the sentence "文(1)" with "避難" highlighted in pink. A callout box labeled "手順④" points to the pink text with the text: "手順③で分析結果に表示された'避難'をクリックすると、その単語の情報が表示されます。ここでは、単語の原形、品詞、活用形、読み、日本語能力試験の級が表示されます。". A popup window titled "避難" displays the following information:

原形	避難
品詞	名詞-サ変接続
活用形	*
読み	ヒナン
級	1

Buttons for "関連する文例" and "閉じる" are also visible in the popup.

わかりにくい部分を修正し、再度評価を行います。「避難しましょう」を「逃げてください」に換えて入力してみました。今度は、全ての文が青になりました。このように、分かりにくいと指摘を受けた部分を言い換える作業を繰り返すことで、「やさしい日本語」文を作成することができます。

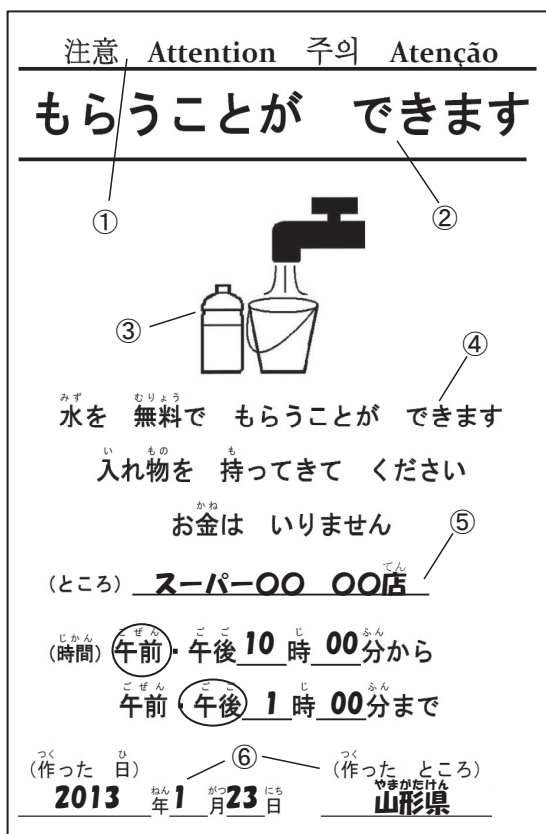
「やさしい日本語」を使ってポスターを作ってみましょう

「やさしい日本語」を使った情報提供の一つに、掲示物（ポスター）による方法があります。掲示物やポスターは、ラジオなどと違って情報を聞き逃すということがありません。また、繰り返し読んで情報を確認できるため、外国人に掲示物を使って情報を伝えることはとても有効です。

掲示物を使って情報を伝えるのに適した場所としては、避難所や病院、銭湯などがあります。しかし避難所などにはたくさんの掲示物が貼りだされるため、コンパクトだけれども目立つポスターを作成する必要があります。ここでは、外国人の目を引くようなポスターを作るための要点をまとめました。

以下に「やさしい日本語」を使ったポスターの作り方を図示しましたので、「やさしい日本語」の作成ルールとともに参考に見て下さい。

<ポスターを作るときの注意点>



- ① 外国人に注目してもらえるよう、はじめに複数の言語で見出しをつける
- ② 見出しは大きく書く
見出し語は動作を表すことばにする
- ③ 情報の内容にあったイラストを載せる
イラストは重要な要素だけを描く
(手書きでも構わない)
- ④ 伝えたい情報や行動を指示することばを「やさしい日本語」を使って書く
- ⑤ 場所などの説明が必要なときは、大きく書く
- ⑥ 作成した年月日、作成した機関の名前を書く。年月日は、〇〇年〇月〇日の形で明記する。また、年は西暦を使う

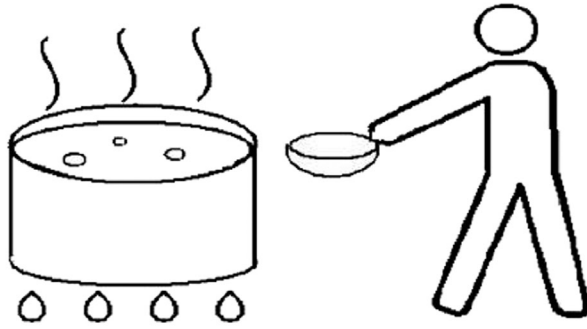
※必要に応じて地図などを付けるとよりわかりやすくなります。地図を載せる場合は、最小限の情報だけを描くようにします

例として、次ページからポスターの見本を4点掲載します。実際に使用する場合は、A3程度に拡大すると望ましいです。ポスターやビラ集は、社会言語学研究室のホームページからダウンロードすることができます。

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ13poster-mokuji.htm>

注意 Attention 주의 Atencão

もらうことが できます



あたたかい ^た食べものを
もらうことが できます

^{かね}お金は いりません

(ところ) _____

^{じかん}(時間) ^{ごぜん}午前・^{ごご}午後 _____ ^じ時 _____ ^{ぶん}分から

^{ごぜん}午前・^{ごご}午後 _____ ^じ時 _____ ^{ぶん}分まで

^{つく}(作った ^ひ日)

^{つく}(作った ^{ところ}ところ)

^{ねん}年 _____ ^{がつ}月 _____ ^{にち}日 _____

注意 Attention 주의 Atencão

^{つか}
使うことが できます



^{でんわ} ^{つか}
電話を 使うことが できます

(ところ) _____

^{つく} ^ひ
(作った 日)

^{つく}
(作った ところ)

ねん がつ にち
年 月 日

注意 Attention 주의 Atencão

つか

使うことが できません



バスを ^{つか} 使うことが できません

_____ ^ゆ 行き

_____ ^ゆ 行きは ^{うご} 動きません

^{つく} (作った ^ひ 日)

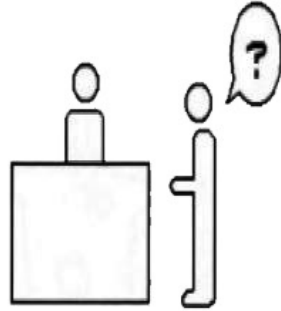
ねん 年 がつ 月 にち 日

^{つく} (作った ところ)

注意 Attention 주의 Atencão

そう だん

相談することが できます



がいこくじん そうだん
外国人は 相談することが できます

し き
お知らせを 聞くことが できます

(ところ) _____

じかん ごぜん ごご じ ふん
(時間) 午前・午後 _____ 時 _____ 分から

ごぜん ごご じ ふん
午前・午後 _____ 時 _____ 分まで

つく ひ
(作った 日)

つく (作った ところ)

ねん がつ にち
年 月 日

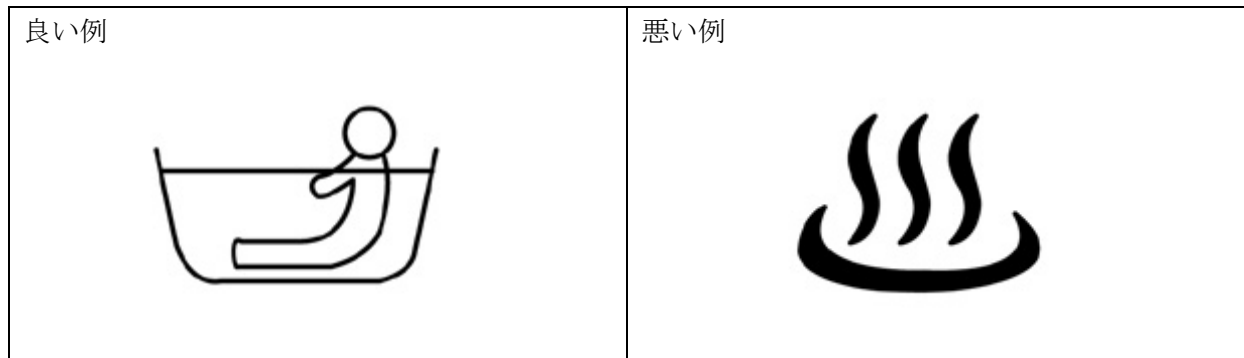
ポスターのイラストを描く際の注意点

ポスターのイラストを描く際の具体的な注意点は以下の通りです

①見てすぐに理解できるものを書いてください

情報を象徴する一般的なものを描きます

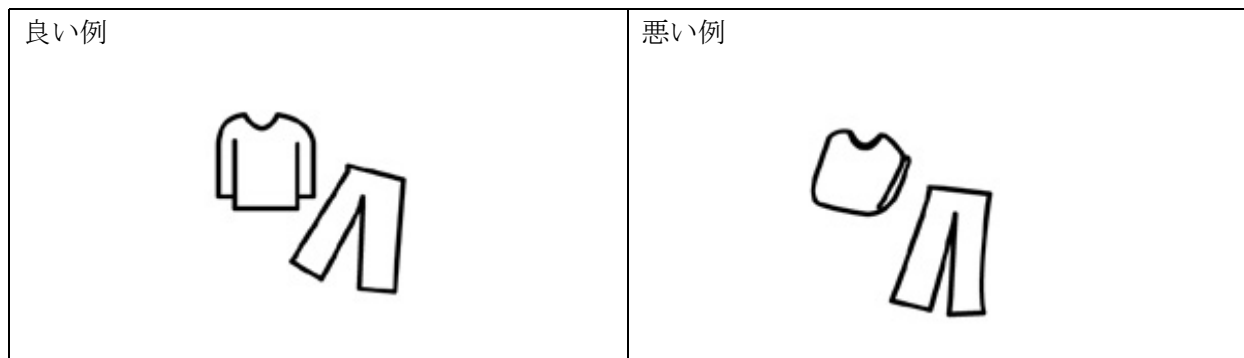
- ・温泉のマークは、外国人にも温泉というイメージが強く、一般的な風呂を表す記号としては不適切です



②できる限り具体的に、明確に描いて下さい

具体的な品物や人を描き、形状も把握しやすいように描きます

- ・衣類をたたんである状態は紙の上では分かりにくくなってしまう

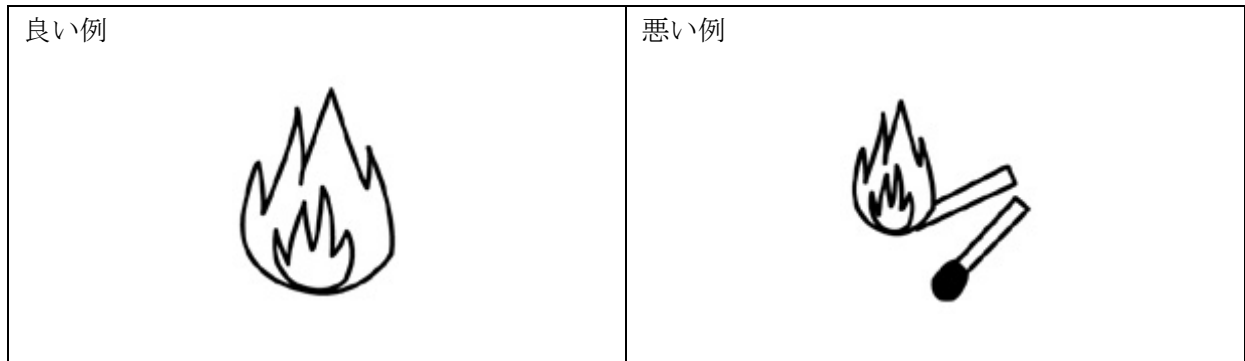


P13 練習問題 問1の答え

模範解答 ドアや ^{まど}窓を ^あ開けて ください
逃げる ^に準備を ^{じゆんび}してください

③多くの要素を詰め込みすぎないでください

- ・「火」の絵だけでも十分伝わります。マッチを加えることで図を複雑にし、分かりにくくなってしまいます

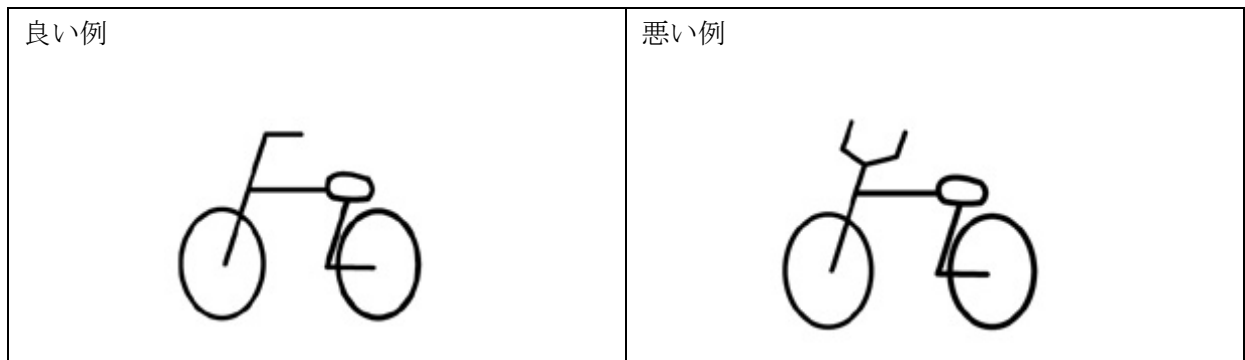


④単純化を心がけてください

使えるところは直線を使用してすっきりさせます

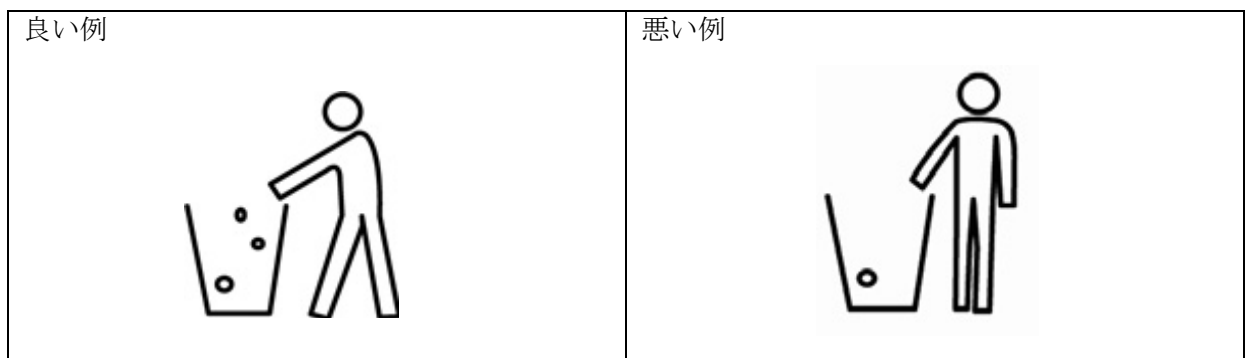
アウトラインは太目の線で描くなどして、見やすくしてください

- ・線が多くなると絵が複雑になり、理解しにくくなってしまいます





⑤情報に動きを必要とするものであれば、組合せや配置を工夫します

- ・動きがないと、人とごみばこの間に結びつきがなくなり、分かりにくくなってしまいます



⑥簡単な言葉を加えるなどして意味を限定してください



- ・テレビの形状だけだと分かりにくくなります

<p>良い例</p> 	<p>悪い例</p> 
--	---

⑦文化的な背景を持つ記号の使用に注意してください

例：郵便のマークは世界共通ではないので、使う際には注意が必要です

- ・外国人には「〒」は見慣れないマークなので、これだけでは、理解しにくくなってしまいます。しかし、日本においてはよく使われ、知っておいた方が便利だと考えられるため、意味が理解できるように「〒」と共に封筒の絵を補います

<p>良い例</p> 	<p>悪い例</p> 
--	---

P13 練習問題 問2の答え

模範解答 地震^{じしん}で こわれた 建物^{たてもの}に 気^きをつけて ください
 余震^{よしん}〈あとから 来る 地震^{じしん}〉に 気^きをつけて ください
 この後^{あと}も 気^きをつけて ください

次に、図記号を使うときの注意点です。否定（禁止）・肯定（安全）・注意・方向を表現する際の注意点については、以下の通りです。

指示に関する記号

 <p style="text-align: center;">飲むことはできません</p>	 <p style="text-align: center;">薬があります</p>
<p>否定を意味する記号</p> <p>「×」という記号を使用し、図記号の上に大きく描いてください。</p>	<p>肯定を意味する記号</p> <p>肯定を表す際は、記号を何もつけないでください。「○」は、外国人には肯定の意味で伝わらない可能性があるからです。 (十字マークについては※参照)</p>
 <p style="text-align: center;">注意して火を使ってください</p>	 <p style="text-align: center;">シャワーは右に行くとあります</p>
<p>注意を意味する記号</p> <p>「△」の中に「！」を描いてください。</p>	<p>方向を指示する記号</p> <p>図記号の認識を邪魔せず、方向をしっかり示します。矢印は黒塗りにしてください。</p>

※十字のマークは、黒く塗りつぶすと赤十字のマークを連想させます。日本では、医療に関わるものという意味で、白抜きの十字マークが使われています。ここでも日本の通例に従い、赤十字のマークと区別して、白抜きの十字マークを使用します。

「やさしい日本語」チェックリスト（掲示物用）

外国人にわかりやすい掲示物になっているか確認してみましょう

- 日本語能力試験3・4級程度の簡単な語彙が使われているか
- 1文は1情報になっているか
- 1文は24拍程度になっているか
- 不用意に、ローマ字が使われていないか
- 不用意に、カタカナ外来語が使われていないか
- 二重の否定表現が使われていないか
- 災害時によく使われる難しい語には、言い換え表現が補われているか
- 分かち書きは正しくされているか
- 漢字の使用には1文に3・4字程度で、すべての漢字に振り仮名がふられているか
- 複数の言語で見出しが付いているか
- 見出しは、伝えたい情報や動作を指示することばで書かれているか
- 絵は単純で、一目でわかるようになっているか
- 本文に、具体的な動作やその理由が書かれているか
- 作成年は西暦で書かれているか
- 作成した機関名は書かれているか

「やさしい日本語」チェックリスト（読み原稿用）

外国人にわかりやすい掲示物になっているか確認してみましょう

- 日本語能力試験3・4級程度の簡単な語彙が使われているか
- 1文は1情報になっているか
- 1文は24拍程度になっているか
- 不用意に、カタカナ外来語が使われていないか
- 不用意に、擬音語や擬態語が使われていないか
- 災害時によく使われる難しい語には、言い換え表現が補われているか
- 同音または音の似ている語が使われていないか
- 二重の否定表現が使われていないか
- 文節の切れ目や文と文の間には、ポーズを入れてゆっくりと読んでいるか
- 一語一語をはっきり発音しているか
- 時間、場所、だれが、何をする、「…してください」、「…に注意してください」は繰り返し読んで強調しているか

事例紹介

今年度、山形県国際交流協会では「やさしい日本語」の普及に努めてきました。普及活動の一つとして、コミュニティFM放送局と「『やさしい日本語』防災情報」というラジオ番組を制作、放送しました。(平成24年11月～平成25年3月)

番組の構成は、以下の通りです。(放送時間：8分間)

- ①「やさしい日本語」についての説明
- ②「やさしい日本語」表現を取り入れた、防災に関する会話文
- ③会話に出てきた重要な情報を、おさらいする
- ④番組への問い合わせについて等

参考までに、一話分の②と③を抜粋し、紹介します。(放送時のものを一部加筆修正しております)

※日本人役の台詞の文末にある()内の数字は、一文の拍数です。

いつも家に準備するもの（“飲み水と食べ物”編）

大きい地震の後は、電気、水道、ガスが使えない時間が、長く続くかもしれません。スーパーも、閉まるかもしれません。いつもの生活が出来るまでの間、毎日必要なものを、準備していますか？中国から山形に来たリンさんは、準備するものを聞いています。それでは会話を聞いてみましょう。

(A…日本人役) (B…中国から山形に来たリンさん)

- A) リンさんは、食べ物を、準備していますか？(19)
災害が起きたときに、必要になります。(20)
- B) うーん…カップラーメンがあります。安い日に、買いました。
- A) 私の家にもあります！(12)
でも、カップラーメンは、つくるときにお湯を使います(24)
食べ物を準備するときは、気を付けることがあります。(25)
- B) それは、なんですか？
- A) はい。(2) 1つ目は、そのまま食べることができるものを買うことです。(27)
2つ目は、冷蔵庫に入れなくていいものを買うことです。(27)
3つ目は、長いあいだ食べることができるものを、買うことです。(29)
- B) うーん…缶詰ですか？
- A) そうです。(4) 魚、パン、ビスケットなどの缶詰があります。(21)
- B) へえ、たくさんありますね。買い物に行くとき、探します！

- A) 缶詰は店に売っています。(14)
 缶詰は、長い間、そのままにすることができます。(25)
 災害が起きた時、食べることができます。(20)
 分からないときは、お店の人に聞いてください。(22)
- B) 分かりました。
- A) 水道が使えないときに飲む水は、準備していますか？(27)
 B) はい！あります。ずっと前に、大きいペットボトルを、買いました。
- A) ずっと前、ですか…。(8)
 リンさん、それは古いかもしれません。(17)
 いつまで飲むことができますか？(14)
- B) うーん…、忘れました。
- A) いつまで飲むことができるか、見てください。(19)
 古くなったら、新しいものを準備してください。(24)
- B) 水道の水は、だめですか？
- A) 水道の水もいいです。(12)
 山形の水は、安全でおいしいです。(19)
 水道の水は、きれいなペットボトルに入れてください。(27)
- B) そうですか。どのくらいの間、飲むことができますか？
- A) 冷蔵庫に入れるときは、5日間です。(19)
 5日を過ぎたら、新しい水にしてください。(22)
 冷蔵庫に入れないときは、3日間です。(20)
 3日を過ぎたら、新しい水にしてください。(22)
 暗い、涼しいところに置いてください。(14)
- B) わかりました。
- A) 飲む水と、食べ物は、3日以上準備してください。(27)
 何を準備するか、家族で話してくださいね。(22)

今から 言うことを おぼえましょう

- 1 飲み水と 食べ物は 3日以上 準備してください
- 2 食べ物は そのまま食べることが できるもの 冷蔵庫に入れなくて いいもの 長いあいだ 食べることが できるものを えらんで ください
- 3 飲み水と 食べ物は いつまで 飲んだり 食べたり できるか みてください

今日は 飲み水と 食べものを 準備するときのことを 話しました



外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」作成の手引き

- 発行年月 2013年3月
- 発行 山形県商工労働観光部 観光経済交流局 経済交流課国際室
〒990-8570 山形市松波二丁目8-1
TEL 023-630-2123
E-Mail ykokusai@pref.yamagata.jp
URL <http://www.pref.yamagata.jp/>
- 企画・制作 公益財団法人山形県国際交流協会
〒990-8580 山形市城南町一丁目1-1 霞城セントラル2階
TEL 023-647-2560
E-mail airy@jan.ne.jp
URL <http://www.airyamagata.org/>
- 監修 弘前大学人文学部社会言語学研究室（教授 佐藤和之）
- 引用・参考 「弘前大学人文学部社会言語学研究室ホームページ」
URL <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ1a.htm>
- 印刷・製本 株式会社 大風印刷
-
-

この手引きは、平成 24 年度において山形県の委託を受けて、
公益財団法人山形県国際交流協会が作成したものです。